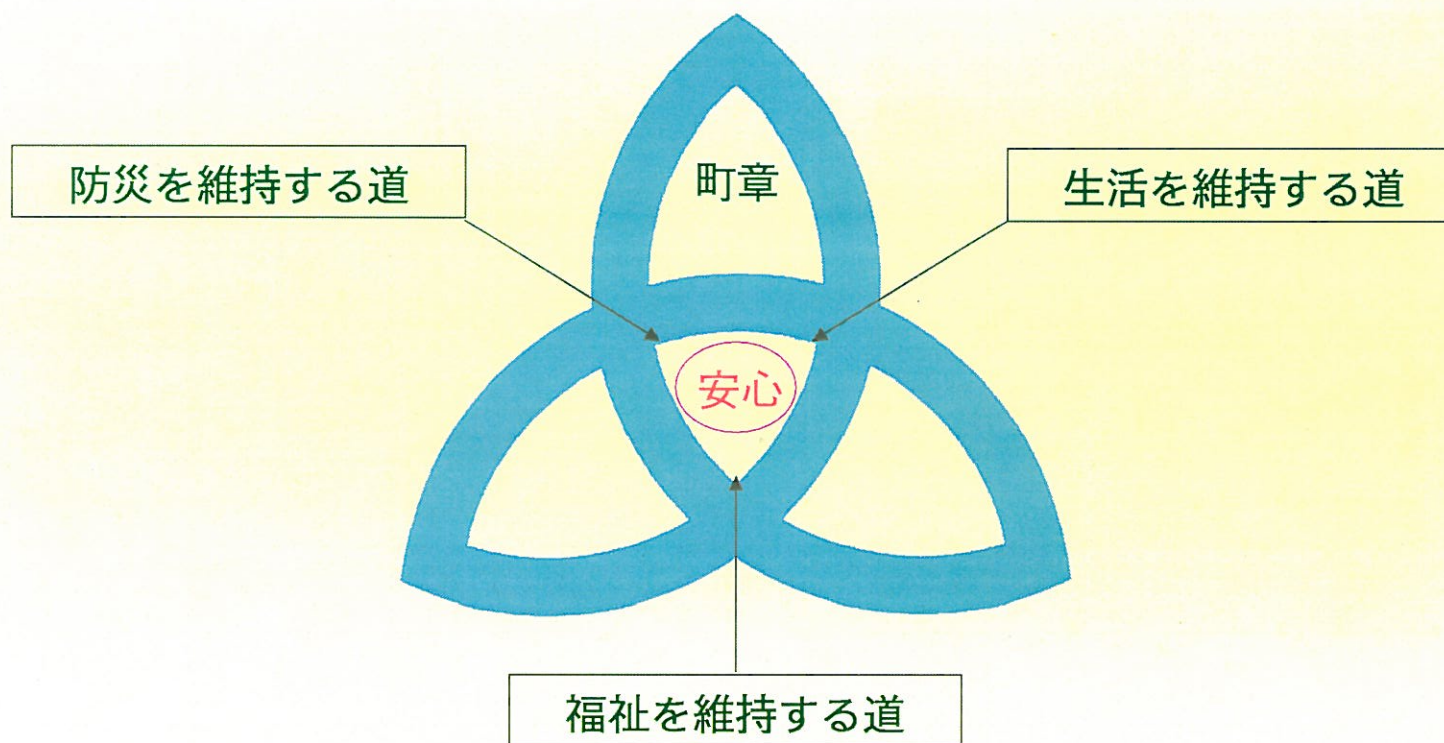


『葛巻町の地方道路交付金事業』

～我が町くずまきの温かい輪を築く道づくり～

(H17～H19)



葛巻町 建設水道課

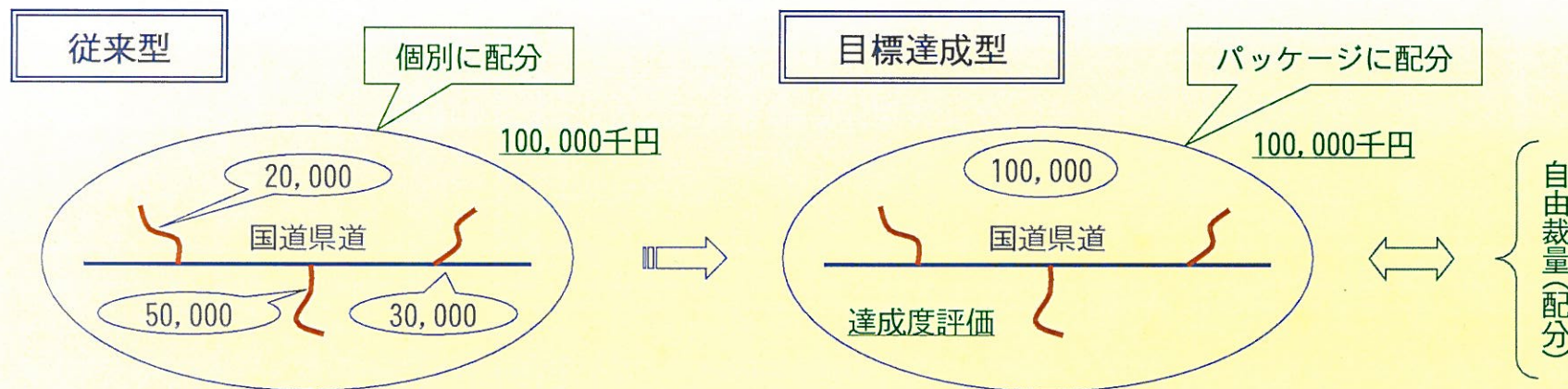
TEL:0195-66-2111(内線243)

FAX:0195-66-2101

E-mail:d25@town.kuzumaki.iwate.jp

地方道路交付金事業制度による事業の推進

個別事業の実施を地方の自由裁量に委ね、
国はパッケージとしての計画目標の達成度を事後評価する目標達成型事業です。



地方の創意・工夫を結集し、重点的・効率的な道路整備の推進が可能に！

葛巻町では、地方道路交付金事業実施の目的を**国道及び県道へのアクセスを円滑にし、地域防災の向上と福祉の増進から住民が安心して暮らせる道づくり**と掲げ、これまで6路線の整備を実施して参りました。従来この事業は、一つの輪(パッケージ)の中にある要素事業(整備路線)に対して要素事業毎に配分する制度でしたが、平成16年度の改訂により一つの輪(パッケージ)に対して配分するものとなり、パッケージの各要素に対しては自治体の裁量により配分できるようになりました。但し、パッケージ全体の目標達成度の事後評価を行い公表することが重要となりますが、町の財政状況や地域情勢等を勘案し、より効率の高い事業の推進が図られる内容となりました。

これを受け、町が進める協働の町づくりに対する住民からのコンセンサスも得られる等、コスト軽減を図りながら円滑な事業の推進を図ることが出来ました。

パッケージ：「我が町くずまきの温かい輪を築く道づくり」の概要



◎対象事業の効果

→パッケージのB/C 5.6

◎対象事業の成果目標(アウトカム指標)

→現況値H17当初 2.63分 →目標値H19末 1.26分

【目標は国県道迄のアクセス時間短縮と町道間のアクセス円滑化】

◎対象事業の目標達成状況

→実績値H19末 0.92分

○当初計画に比して、1箇年の事業短縮が図られた要素や計画事業費よりも安価に竣工した要素があったこと又、最も大きな要因は1車線から2車線の改良における設計速度の向上により長期目標値の大幅アップが図られたと考えている。

○要素事業内訳

	路線名	工区名	供用	進捗状況
①	(他)田屋線	田屋	H17	H17完成、270m
②	(一)椈ノ木土谷川線	戸草沢	H18	H18完成、1,940m
③	(二)根地戸線	根地戸	H19	H19完成 I 期、605m
④	(他)境ノ沢線	境ノ沢	H19	H18完成、140m
⑤	(他)惣路線	新町	H17	H17完成、89m
⑥	(一)坂待屋鷹ノ巣線	馬場	H19	H19完成 I 期、380m
⑦	(他)七滝線	荒屋	H20	H20新規予定、243m
⑧	(二)田子星野線	鏡沢	H21	H21新規予定、383m

◎主な整備箇所状況

【 ② 町道椴ノ木土谷川線 】

【整備前】

- ・幅員4.0(5.0)m
- ・設計速度30km/h
- ・町の中心部から約30kmの地域であるが冬期間は急勾配や積雪による圧雪や幅員狭隘から20km/h程度の走行で1時間を見込まなければならない状況であった。



整備前通過時間3.88分(1,940m)

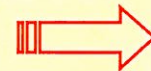


【整備後】

- ・幅員6.0(9.0)m
- ・設計速度50km
- ・堆雪帯付から幅員が常に確保され車両通行に支障を来さない
- ・町中心部までの時間は35分～40分程度まで短縮された。



整備後通過時間2.33分(1,940m)



【整備前】

- ・過去に数件の冬期間における火災が発生した経緯があるが何れも全焼であった。(隣接町村からの応援の方が早い場合もある)よって早期整備により防災の充実を図る必要があった。



【整備後】

- ・路線沿線にはくずまき高原牧場があり観光用道路としての利用も高い。又、奥中山高原牧場との連携から他町村交流ネットワーク形成も含む路線である。



◎主な整備箇所状況

【 ⑥ 町道坂待屋鷹ノ巣線 】

【整備前】

・幅員3.0(4.0)m
 ・設計速度20km/h
 ・町の中心部から約10kmの地域であるが今回事業区間以外は4.0(5.0)mの規格であるが当該区間のみが著しく狭隘であった。

通学生や通行者は車両が来ると路肩部に立ち止まるということ余儀なくされていた。

通行車両も擦れ違い時には路肩を逸脱するのなど非常に危険な道路であり冬期間は身動きがとれない状況が時折発生し長年懸案となっていた。



※ 冬期以外も擦れ違い無理



幅員3.0(4.0)m

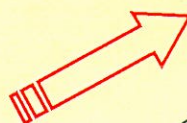


【整備後】

・幅員5.5(7.0)m
 片歩道2.5m
 ・設計速度40km
 ・H17学校統合によりスクールバスが運行されており、子供達の安全を担う重要な路線となっている。



幅員5.5(7.0)m 片歩道2.5m



地域の方々のコメント

高校や中学に通う子供達がいつも危ないと思って見ていたが、歩道が出来て人も車もやっと安全に通行できるようになった。お年寄りにも散歩など大変良いと思う。

星野自治会 本地 会長さん

※ ②・⑥両路線→スクールバス運行路線

問い合わせ先 葛巻町役場建設水道課地域整備室地域整備係まで TEL 0195-66-2111 内線(243)

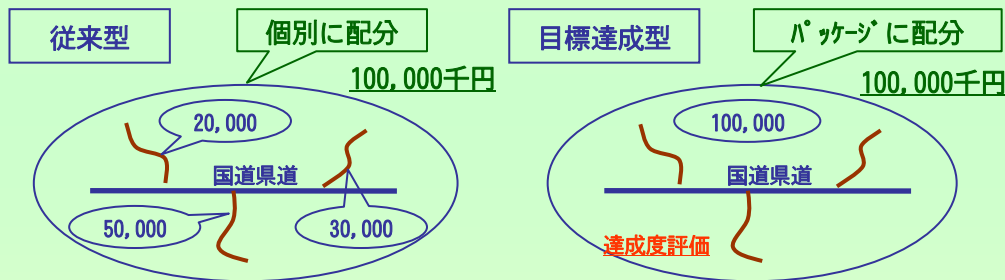
“我が町くずまきのミルクを結ぶ道づくり”

地方道路交付金事業(地方道路整備臨時交付金)制度による事業紹介

個別事業の実施を地方の自由裁量に委ね、国はパッケージとしての計画目標の達成度を事後評価する目標達成型事業です。



現在、葛巻町では地方道路交付金事業（地方道路整備臨時交付金）により5路線の整備を実施しています。従来この事業は、事業規模要件を満たす個別事業に対して配分する方法でしたが、平成16年度より地域の自然的・社会的特性に即して地域住民の日常生活の安全性や利便性の向上または、快適な生活環境の確保を図るため、一定の地域若しくは一体的に行われる必要のある複数の要素事業（個別事業）から構成される事業に対して配分（補助）を行う制度に改革されました。わかりやすく説明すると一つの輪（パッケージ）の中にある要素事業（整備路線）に対して要素事業ごとに配分するのではなく、一つの輪（パッケージ）に対して配分となるものです。つまり、パッケージの中の各要素に対しては自治体の裁量により配分できるというものです。但し、パッケージ全体の目標達成度の事後評価を行い公表することが重要となります。



地方の創意・工夫を結集し、重点的・効率的な道路整備を促進!

【ミルクを結ぶ道づくりのコンセプトとは・・・】

酪農郷である我が町の道路網を整備し国道及び県道等主要幹線道路へのアクセス時間の短縮を図ることにより、主要産業である酪農業の活性化と円滑な流通ルートを確保し家畜防疫の充実を築こうとするもので、飛躍的な産業発展のため均衡ある道路網の整備を図るものです。もちろん、防災・医療・福祉の充実もしっかりと図られます。

【整備路線の概要－事業期間H20～H22】

- ①二級町道根地戸線 延長L= 781m、幅員W=4.0(5.0)m (改良舗装工事)
- ②二級町道毛頭沢線 延長L= 726m、幅員W=4.0(5.0)m (改良舗装工事)
- ③その他町道七滝線 延長L= 243m、幅員W=4.0(5.0)m (改良舗装工事)
- ④その他町道松ヶ沢線 延長L= 450m、幅員W=3.5(4.5)m (改良舗装工事)
- ⑤その他町道渋谷地線 延長L= 250m、幅員W=3.5(4.5)m (改良舗装工事)
- ⑥その他町道下町田子線他10路線 (路肩路面・構造物等、維持補修工事)

【時間短縮目標値】 H20当初2.28分からH22末日1.45分と0.83分の短縮を目指します。